

令和6年第8回南島原市教育委員会定例会

日時 令和6年8月23日（金）午後2時

場所 南有馬庁舎 2階会議室1

議事日程

第1 開会

第2 前回会議録の承認

第3 会議録署名人の指名

第4 教育長・各課室報告

第5 議案審議

- ・議案第12号 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書（令和5年度事業分）について
- ・報告第14号 南島原市スポーツ推進委員の委嘱について

第6 その他

- （1）令和6年度南島原市一般会計補正予算（第2号）について
- （2）次回教育委員会定例会の開催について
- （3）その他

第7 閉会

令和6年 第8回南島原市教育委員会定例会 教育長報告

○令和6年7月の諸会議並びに諸行事

- 29日(月) 9:00 南島原市国民文化祭実行委員会設立総会(カムス)
14:00 令和6年 第7回南島原市教育委員会定例会(南有馬庁舎)
- 30日(火) 12:30 「社会を明るくする運動」中学生弁論大会(コレジヨ)
19:00 令和6年度第1回南島原市健康づくり推進協議会(南有馬庁舎)

○令和6年8月の諸会議並びに諸行事

- 1日(木) 16:00 市長表敬訪問 九州・全国中総体出場(西有家庁舎)
- 2日(金) 8:30 退職校長会長来庁(南有馬庁舎)
9:00 新ALT来庁(南有馬庁舎)
- 3日(土) 13:00 令和6年度第1回地域の力を考えるつどい(カムス)
- 7日(水) 14:00 令和6年度第1回南島原市図書館協議会(オアシス)
- 8日(木) 9:00 教育長辞令交付式(西有家庁舎)
9:30 部局長会議(西有家庁舎)
16:00 商工会女性部との協議(南有馬庁舎)
- 19日(月) 9:30 市長表敬訪問 加津佐クラブ・ロ之津JAC(西有家庁舎)
- 20日(火) 14:00 令和6年度第2回民生委員推薦会議(南有馬庁舎)
- 21日(水) 14:00 令和6年度教師職員研修「With」教育講演会(コレジヨ)
- 22日(木) 10:00 長崎県健康教育研究協議会 島原半島大会(雲仙市)

令和6年 第8回南島原市教育委員会定例会 各課室報告

○教育総務課

- 7月31日 第2回 自己点検・評価検討会議
- 8月19日 令和6年度第1回 南島原市本庁・支所在り方検討委員会
- 8月20日 都市教育委員会庶務担当課長会議（松浦市）～21日

○学校教育課

- 7月30日 西有家小・中学校東京研修 ～8月1日
- 8月1日 全国・九州中総体激励会（西有家庁舎）
- 8月2日 南島原市校長会第4回研修会（カムス）
- 8月9日 市内小・中学校登校日 ※8校授業日
- 8月21日 市内小・中学校登校日 ※8校授業日
教職員研修 With 教育講演会（コレジヨ）
- 8月22日 長崎県健康教育研究協議会（雲仙市ハマユリックス）

○生涯学習課

- 7月29日 南島原市国民文化祭実行委員会設立総会及び第1回総会（カムス）
- 7月30日 第1回南島原市スポーツ推進イベント実行委員会（コレジヨ）
- 8月2日 B&G塾 夏休み学習・水辺の安全教室（加津佐町）
- 8月3日 令和6年度第1回 地域の力を考えるつどい（カムス）
- 8月4日 B&G 砂A s o B e a c h（加津佐町）
- 8月6日 B&Gマリンスポーツ教室「カヌー」（加津佐町）～8月13日（計4回）
- 8月8日 B&Gマリンスポーツ教室「SUP」（加津佐町）～8月15日（計2回）
- 8月10日 アーティスト・イン・レジデンス紹介展（アートビレッジシラキノ）～24日
B&Gカヌー長島海峡横断大会（熊本県天草市）
- 8月16日 B&G塾 楽しい数学教室・マリンスポーツ（加津佐町）
- 8月17日 B&G自然体験ネイチャー「干潟体験」（佐賀県）
- 8月18日 県スポーツ推進委員会女性員会主管研修会（諫早市）
- 8月19日 夏休み子ども会映画会（コレジヨ）
島原半島社会教育連絡協議会 役員会・総会・情報交換会（雲仙市）
第2回寺子屋実行委員会（深江公民館ほか）～23日 （2地区ごと4回実施）
表敬訪問 陸上日清カップ（西有家庁舎）
- 8月20日 表敬訪問 ペタンク協会（西有家庁舎）

令和6年 第8回南島原市教育委員会定例会 各課室報告

○文化財課

- 7月30日 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会
- 8月5日 荒田下橋測量設計業務委託：契約
- 8月13日 原城跡法面復旧工事（2工区）：契約
- 8月19日 島原半島社会教育連絡協議会（雲仙市）

○世界遺産推進室

- 7月29日 潜伏キリシタン関連遺産第2回情報交流会（リモート参加）
- 8月5日 協働のまちづくり市政出前講座（有馬キリシタン遺産記念館）
- 8月7日 世界遺産市民協働会議専門部会合同会議（南有馬庁舎3階大会議室）
- 8月10日 大阪お城フェス2024（大阪市）～8月12日

議案第 1 2 号

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書（令和 5 年度事業分）
について

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条の規定により、令和 5 年度における教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表しなければならないので、教育委員会の意見を求める。

令和 6 年 8 月 2 3 日提出

南島原市教育委員会
教育長 松本 弘明

【資料】

第8回定例教育委員会

教育委員会の所管事務に係る 自己点検・評価報告書

〔令和5年度事業分〕

令和6年9月

南島原市教育委員会

目 次

(頁)

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	(1)
--------------------------	-----

学識経験者の所見	(3)
----------	-----

自己点検・評価	(11)
---------	------

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	(12)
---------------------	------

1 教育委員会及び教育委員の活動	(12)
------------------	------

- (1) 教育委員会会議の運営及び情報発信
- (2) 教育委員と事務局との連携
- (3) 教育委員会と市との連携
- (4) 教育機関等との連携
- (5) 教育委員の研修等

2 教育委員会が管理又は執行する事務(教育長に委任できない事務)	(14)
----------------------------------	------

- (1) 教育行政運営に関する一般方針の決定
- (2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定
- (3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申
- (4) 教育次長、課長及びその他の教育機関(小学校及び中学校を除く)の長の任免
- (5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定
- (6) 教育委員会規則の制定又は改廃
- (7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見
- (8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱
- (9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定
- (10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定
- (11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定
- (12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務)	(16)
--	------

1 教育環境の充実に係る事務	(16)
----------------	------

- (1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事
- (2) 小・中学校の整備改修
- (3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

2 学校教育の推進に関する事務 (18)

- (1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）
- (2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）
- (3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員・適応指導教室指導員の配置）
- (4) 学校支援員配置事業
- (5) 市教職員研修「W i t h」
- (6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展
- (7) 人間教育研究指定小学校事業
- (8) 人間教育研究指定中学校事業
- (9) 総合学習事業（小学校）
- (10) 総合学習事業（中学校）
- (11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手等の配置）
- (12) 学校給食センターの円滑な運営
- (13) 南島原市立小・中学校適正規模・適正配置事業
- (14) I C T機器の整備
- (15) 中体連補助事業
- (16) 英語検定料等補助金事業
- (17) 南島原市イングリッシュ・スピーチコンテスト

3 社会教育の推進に関する事務 (23)

- (1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動
- (2) 家庭教育支援の充実
- (3) 地域教育力の充実
- (4) 芸術文化の振興
- (5) 読書活動の推進

4 スポーツの振興に関する事務 (29)

- (1) スポーツイベントの開催
- (2) スポーツ団体との連携

5 文化財の保護活用に関する事務 (31)

- (1) 資料館等の維持・管理
- (2) 指定文化財の保護・管理
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査
- (4) 文化財保護審議会
- (5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

6 世界遺産推進に関する事務 (33)

- (1) 世界遺産関連施設整備事業の推進
- (2) 世界遺産の保護に関すること
- (3) 世界遺産の周知・啓発に関すること
- (4) その他世界遺産の推進等に関すること

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成の仕方について

- 1 教育委員会の所管事務について、項目ごとに、点検・評価のコメント及び活動内容について記載しました。

また、項目ごとに、達成度と評価を記載しました。

なお、達成度において、新型コロナウイルス感染症のため実施できなかった事業は、未実施としています。

【達成度】

達成	達成率 100%以上
概ね達成	達成率 80%～99%
未達成	達成率 80%未満
未実施	新型コロナウイルス感染症のため未実施

【評価】

継続	今後も対象範囲や条件等を変えずに予定どおり（計画どおり）実施するもの
拡充	今後、対象範囲や条件、規模等を拡大・追加して実施するもの
縮小	今後、対象範囲や条件、規模等を縮小して実施
改善	規模や対象等の変更を伴わず、事務手法等を改善する
統合	事業の再編や事務の簡素化等のため別の事業に統合する
完了・廃止	事業の完成などにより事業を終了するもの

- 2 回数、人数等、令和5年度の数値（実績）が前年度と比較できるものについては、〔 〕書きで、令和4年度の数値を掲載しました。
- 3 南島原市教育振興基本計画の指標（数値目標）があるものについては、【指標】で令和5年度までの目標指数を記載しました。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

令和5年度の所管事務について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しました。なお、学識経験者の知見の活用については、お二人にそれぞれ所見をいただきました。

自己点検及び評価に当たっては、客観的な視点に立って実施し、その結果、特筆すべき事項として次の点が挙げられます。

教育委員会の活動においては、ホームページによる詳細な会議録を毎回公開し、積極的な情報発信を行いました。さらに、総合教育会議を通じての活発な意見交換と学校訪問や研究発表会への参加により、市や学校との連携を図りました。

学校施設整備においては、南島原市内学校施設の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減、予算の平準化及び学校施設に求められる機能・性能を確保するため策定した、「南島原市学校施設長寿命化計画」（令和元年度～令和38年度）に沿って、更なる安全性向上を図るための非構造部材耐震化改修工事を進めております。また、老朽化した施設の維持管理については、大規模修繕とならないよう事前に投資する予防保全型の管理体制の足がかりとして、屋上屋根の防水工事を中心に整備改修を行いました。

学校教育においては、確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育む教育の推進に努めました。個々の児童生徒にきめ細やかな対応ができるよう、特別支援教育助手、学校支援員、心の教室相談員等を各学校の実情に応じて配置しました。また、教職員のスキルアップを図るための教職員研修「With」の実施や計画的な学校訪問等を行い、学校力の向上を目指しました。その他、生きるための学力と人間力の向上を狙った研究指定や、就学・教育支援、子どもの悩み相談事業等を展開するとともに、総合学習事業により、各学校の横断的、総合的な学習を支援しました。学校給食センターについては、供用開始から2年が経過し、安全・安心な学校給食を提供しております。今後も、各事業を効果的・継続的に推進してまいります。

社会教育の推進においては、感染症の影響により、通学合宿事業を中止しましたが、青少年教育事業をはじめ、子どもリーダー研修などの子ども会育成事業を実施しました。また、南島原市保護者支援士養成講座や親子体験型家庭教育学級、親育ち講座を開催し、家庭教育支援に関わる地域人材の育成や乳幼児を持つ親の学習機会の充実に取り組みました。各地区の公民館事業においても、各種講座を実施し、学びの場を提供しました。図書館事業では、市子ども読書活動推進計画に基づいた取組として、幼稚園、保育園及び認定こども園と連携して未就学児の読書推進に取り組みました。今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、社会教育施設等における人生各期における学びの機会の充実と学びの成果を地域に還元できる持続可能な人材の育成に努めてまいります。

スポーツの振興においては、子ども達を対象とした「マリンスポーツ教室」や「自然体験事業」に多くの参加があり、本市の自然環境を活かした郷土愛の醸成を図りました。「第31回原

城マラソン大会」につきましては、5年ぶりにコロナ禍以前の通常規模で開催し、約1,300人の参加がありました。また、令和4年4月に供用を開始した多目的運動広場については、指定管理者である総合型地域スポーツクラブ「TEAM ひまわり」と連携して施設の利用推進を図り、市内外から多くの方にご利用いただきました。今後も市民の健康増進とスポーツ競技力の向上及びスポーツによる交流人口の拡大を図り、地域の活性化につながる事業を進めてまいります。

文化財行政においては、国・県及び市指定文化財の保存・管理のための定期的な巡回や除草作業等の実施及び施設等の整備、資料館の修繕、収蔵品の燻蒸処理を行うとともに、企画展などを実施し入館者の増加に努めました。今後も適切な維持・管理に努めるとともに、文化財の保存と活用に努めてまいります。また、県営ほ場整備に伴う水打場遺跡の発掘調査などを行いました。今後も遺跡の発掘調査を継続しながら、保存と記録を行ってまいります。国指定史跡原城跡及び日野江城跡については、普遍的な価値を有するかけがえのない文化財として維持管理に努め、調査・整備を進めてまいります。原城跡においては、近年の調査結果を広く周知するために企画展を開催いたします。

世界遺産推進においては、原城跡が構成資産の一つである「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、世界遺産登録5周年を迎え、市内外にあらためて原城跡をPRするために、南島原市世界遺産市民協働会議を中心として、企画展の開催や記念イベントなどの世界遺産登録5周年記念事業を実施し、多くのお客様に参加いただきました。また、世界遺産の価値をより広く伝えるために、原城跡のパンフレットの配布や「原城 VR」の貸し出し、さらには、より多くの来訪者が原城跡を訪れるためのレンタサイクルの貸し出しなどを行うとともに、世界遺産の保存のための取り組みとして、保全状況報告のためのモニタリングや遺産影響評価を実施しました。

世界遺産推進のための重要施策として取り組んできた世界遺産センター整備事業につきましては、建築及び造成、ガイダンス施設展示に係る実施設計を実施し、令和6年度から施設整備工事に着手することとしております。世界遺産センターは、世界遺産の価値を伝えるガイダンス施設としてだけでなく、地域の物産振興や観光振興面でも核となり得る施設として整備することとしており、関係部署や民間組織との連携を深めながら着実な事業の実施に向けて取り組みを進めてまいります。

令和6年9月

南島原市教育委員会

学 識 経 験 者 の 所 見

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 〔令和5年度事業分〕」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会会議は定例会が毎月計画的に実施され、そのつどホームページにより詳細な会議録を公開するなど積極的な情報発信が行われている。

教育委員と事務局間において、年間を通じて確実な連絡調整に努め、会議日以前に教育委員に資料を送付するなどの工夫も効果的である。

総合教育会議において積極的な意見交換が行われ、市との連携も強固なものとなっている。A Iドリルや中学校部活動の地域移行等、今日的な重要課題も協議されている。

特に、できる限り学校に足を運び実態を把握するとともに、的確な指導支援を行い学校を支えるという教育委員会の姿勢が高く評価できる。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

「南島原市教育振興基本計画」に沿った目的を達成するために一般方針が決定されている。遅滞なく漏れなく審議され「事例なし」以外の点検項目はすべて達成されている。今後も慎重かつ厳正な職務遂行をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

市内小・中学校の児童生徒の健康、安全・安心が最優先という基本方針に則り、耐震化、空調整備、設備改修が計画的に推進され、教育環境が充実している。今後も「南島原市学校施設長寿命化計画」に沿って、熱中症対策等更なる安全性向上が図られることを願う。

社会教育施設・社会体育施設においても緊急性を考慮し、点検に基づいた設備改修が行われている。

老朽化した施設の維持管理について、大規模修繕とならないよう予防保全型の管理体制が推進されている。

2 学校教育の推進に関する事務

「確かな学力」「豊かな心と志」「健やかな体」を育む教育を推進するため、児童生徒の実態や学校現場の思いを踏まえた具体的な施策が実施されている。

特に心身に障害のある児童生徒に対する就学支援、特別支援教育、不登校児童生徒数減少を目指した施策に重点を定めていることが、ひしひしと伝わってくる。

長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響が、児童生徒にも及んでいることは否めない。失ったものも大きい分、苦勞する中で得たものを是非とも活用してほしい。今後も粘り強く改善に向けた取組を継続してもらいたい。

学校支援員配置事業は、当初のねらい通りに教職員の負担軽減が図られ、個に応じた指導や働き方改革の推進に大きく寄与している。

市教職員研修「W i t h」のねらいの達成度は非常に高い。「W i t h」という温かみを

帯びた素晴らしいネーミングが、今後も更に教職員に浸透し、児童生徒に還元されていくことを期待する。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展は、本市の独自性を生かした意義深いもので、美術教育並びに科学技術教育の振興に寄与し、本市児童生徒にしっかりと根を下ろした取組となっている。

ICT 機器は児童生徒一人1台のタブレット配備や電子黒板の追加配置により、授業改善を推進し、学力向上が図られている。今後も更に教職員の研修の充実を図り、学校教育の質の向上につなげてほしい。また、コロナ禍で培ったノウハウを生かした学習保障が、不登校傾向の児童生徒の指導支援の有効な手段として活用されていることも評価できる。

本市の中体連補助事業はとても手厚く、学校現場の大きな支えとなってきた。今後も生徒の健全育成のため、是非とも継続をお願いしたい。部活動の地域移行については総合教育会議の協議内容にもなっているように、部活動及び中体連・中文連は大きな転換期を迎えている。全国、九州、県の動向も踏まえたうえで、連携を密にし、慎重な協議をお願いしたい。保護者の経済的・時間的余裕の差によって、生徒が不利益とならないように願う。

英語検定料等補助金事業等の成果が積み重ねられ、英語力及び学習意欲の向上につながっていることがイングリッシュ・スピーチコンテストの県大会における本市代表生徒の毎年の活躍からも評価できる。弁論や作文においても本市生徒の活躍は大変素晴らしく、関係者の努力に敬意を表したい。

3 社会教育の推進に関する事務

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていた事業も復活しつつある。感染症対策を講じたうえで、地域人材の育成に懸命に取り組む姿勢がおおいに評価できる。保護者支援士養成講座や親子体験型家庭教育学級の実施は、まさに今日的課題を的確に把握した事業である。

親育ち講座、はじめのいっぽ講座、にほ・さんぽ講座というわかりやすく温かみのある講座名に好感が持てる。このような視点は、講座の内容や受講者の心理にも反映され、成果に結びつくことを期待する。

芸術文化の振興については、多くの市民(子どもも大人も)に親しまれる本物の舞台芸術や展覧会などの鑑賞機会を提供し、豊かな地域づくりを推進するというコンセプトに賛同する。

読書活動の推進に対する本市の積極的な姿勢は高く評価できる。長期的な視野に立ち是非とも継続してほしい。

今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、人生各期における学びの機会の充実と、学びの成果を地域に還元できる人材の育成に努めてほしい。

4 スポーツの振興に関する事務

スポーツ振興もコロナ禍で大きな影響を受けてきた分野であるが、「第31回原城マラソン大会」が5年ぶりに通常規模で開催されたことに、主催者の熱い思いが伝わってくる。復活は容易ではないだけに、素晴らしいことである。

令和4年4月に供用を開始した多目的運動広場は、指定管理者である総合型地域スポーツクラブ「TEAM ひまわり」と連携して利用促進を図り、市内外から多くの利用者があったことが評価できる。今後さらに存在価値、利用価値が高まるように努めてほしい。市の

施設や事業の価値を高めるのは市民の役割であるという視点も大切にしたい。

今後も本市の豊かな自然や文化を生かし、郷土を愛する心を育みながらスポーツ活動の振興を図ってほしい。

5 文化財の保護活用に関する事務

文化財の適切な維持・管理と普及活用を今後も継続してもらいたい。

資料館等、指定文化財、埋蔵文化財はもとより、本市の美しい自然景観や興味深い施設等が、現在整備中の自転車歩行者専用道路の直近または、少し足を延ばせば届く場所にある。訪れる人の数がなかなか伸びない等の課題解決のひとつの案として、自転車歩行者専用道路を軸とした、統合的なアイデアの実現を推進してほしい。

旧駅舎は、古くは出征される方々を見送った場所でもあり、多くの人々の青春時代、幼少期、壮年期、晩年期の思い出が詰まった場所である。未来へつながるアイデアを結集し、市民自らが価値を高めていく姿勢が大切ではないかと考える。

6 世界遺産推進に関する事務

世界遺産推進の重要施策である世界遺産関連施設整備事業の核となるのが「南島原市原城跡世界遺産センター」であると明確になってきたことが評価できる。いろいろな工夫を凝らし諸活動を行うなかで、このように核となるものが明確になると市民にとってもわかりやすくなる。

世界遺産センターは世界遺産の価値を伝えるガイダンス施設としてだけでなく、地域の物産振興や観光振興面でも核となりえる施設として整備される。着実な事業の実施とその効果に期待したい。

教育委員会の所管事務について項目ごとに達成度と評価が記載され、詳細に自己点検・評価がなされている。

教育委員会の各課より具体的な説明を受け、質問に対しても丁寧に対応していただいた。

業務の遂行に誠心誠意努め、説明責任をきちんと果たしていることを知ることができた。目標達成に向けて懸命に努力されている姿勢が高く評価できる。今後も南島原市民の健康、安全・安心を最優先に、より一層の創意工夫がなされ職務が遂行されることを願い、所見とする。

令和6年9月1日

城 谷 和 人

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 〔令和5年度事業分〕」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

各種会議が計画的に実施され、審議が漏れなく行われている。会議開催にあたっては、事前に資料を配布するなどきめ細やかな対応がなされている。そのため、会議は有効に開催されている。会議結果については、会議資料と会議録を市のホームページに公開し、市民への周知が図られている。また、総合教育会議では、第2期南島原市教育振興基本計画、デジタル技術の積極的活用（A Iドリル）の協議も行われ、市との連携が十分行われている。さらに、教育委員の研修等では、新しい情報や懸案事項等について充実した研修が行われていることがうかがわれる。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

「南島原市教育振興基本計画」の目的達成のための指標を立て、小・中学校や各種教育機関の長の任免及び、教職員の人事や進退に係る決定や教育委員会の規則の制定改廃、教育予算等広範囲にわたる業務内容について慎重かつ公正に取り組まれており、「事例なし」以外の点検項目はすべて達成されている。本市教育活性化の基盤となる業務内容であるので、今後とも確実な業務遂行をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、その安全性の確保は重要である。令和5年度は中学校1校の非構造部材耐震化改修工事が実施された。今後も計画的に進めていきたい。

また、社会教育施設、社会体育施設の整備についても、老朽化等により緊急性の高い工事を優先し、市民の生涯教育学習の場の提供がなされており、評価できる。

2 学校教育の推進に関する事務

学校教育は「南島原市教育振興基本計画」に明示してあるように、「確かな学力・豊かな心と志・健やかな体」を育むことを目指して、各種施策が一貫して実施されている。

新入学児童支援事業や特別支援教育推進事業・子どもの悩み相談事業・学校支援員配置事業では、心身に障がいのある児童生徒や不登校傾向の児童生徒及びその保護者に対してもきめ細やかな配慮がなされ、一人一人の児童生徒のニーズに対応する教育が推進されている。ただ、コロナの影響のためか小学生の不登校児童数がふえているのが憂慮される。心の教室相談員の配置増や相談員との連携をさらに深めるなど対策がなされることを期待する。

市教職員研修や人間教育研究指定事業では、学校現場で直接指導に当たる教職員の指導力の向上につながるとともに、児童生徒の「生きるための学力と人間力の向上」に大いに寄与するものと期待できる。特に、市教職員研修「W i t h」のアンケート結果で、研修の充実ぶりがうかがえる。今後とも現場のニーズに応じた研修を継続していただきたい。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展の開催は、本市独自の取組で、美術や科学に対する児童生徒の興味・関心を高めるとともに絵画や彫塑・科学研究物への創作意欲を高めている。今後とも継続して開催してもらいたい。

語学指導外国青年招致事業については、6人の外国語指導助手（ALT）を市内全中学校に、市独自の英語指導助手（EAT）3人を市内全小学校に派遣している。EATについては、数値目標6人の達成を期待する。

学校給食については、新しい給食センターが令和3年9月から供用開始となった。今後とも安全・安心で美味しい給食が提供できるように一層の努力をお願いしたい。

I C T機器の整備については、小学校電子黒板31台を更新のため購入したとのことである。今後もこれらの機器の効果的な活用に向けて取り組んでいかれることを期待する。

南島原市イングリッシュ・スピーチコンテストについては、市内小・中学校生の英語に対する興味・関心を高め、英語による表現力の育成・強化が図られている。特に、県大会では本市の中学生が最優秀賞に選ばれるなど素晴らしい成果が見られる。これらの事業では、これからの時代を生きる児童生徒にとって、英語の習得や国際社会を理解する上で、大変効果的であると期待している。

3 社会教育の推進に関する事務

社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動については、コロナ禍前の活動に近づいた印象を受ける。提言書の作成に向けた取組について協議がなされることを期待している。また、委員の研修については、参加回数や参加人数が増え充実した研修がなされていることがうかがえる。

家庭教育支援の充実での地域人材の育成については、家庭教育支援コアサポーター養成・家庭教育支援プログラムファシリテーター養成・フォローアップ講座は再開されたことに関係者の努力がうかがわれる。家庭教育支援に関するネットワークの構築については、わくわく広場における講座が31講座、220人の受講者を対象に開催された他、情報提供や相談支援がなされたのは、関係各位の努力によるもので評価できる。

地域教育力の充実では、成人教育として公民館講座等の学習の機会と内容の充実がよく図られ、各種講座が実施されていた。また、地域全体で未来を担う子どもたちの豊かな学びの提供と成長を支えるための「地域の力を考える集い」が開催されたことは意義深い。

芸術文化の振興では、多くの市民に親しまれる本物の舞台芸術や展覧会などの鑑賞機会を提供するため、コンサートや文化公演などが開催され、大変好評であった。今後ともぜひ継続していただきたい。

読書活動の推進では、「南島原市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館教室開催で素晴らしい実績が示されている。関係各位の努力によるもので今後の活動も期待する。

4 スポーツの振興に関する事務

スポーツイベントの開催については、新型コロナで中止になった大会も復活に向けて関係者の努力がうかがえる。特に、「第31回原城マラソン大会」が5年ぶりに通常開催され、多くの参加者があったことは何よりである。

「スポーツ団体との連携」については、「TEAMひまわり」と連携し、施設活用とスポーツの推進に取り組まれている。特に、施設の活用では、土日小学生や高校生の利用が多いとのことである。今後も利用者が増えるよう創意工夫していただきたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

資料館等の維持・管理については、資料の整理や修繕等がなされている。今後は新しい企画展等の開催とともに入場者数増加対策のさらなる検討を期待している。

指定文化財の保護・管理については、除草作業などが定期的に巡回を兼ねて行われている。また、近年の豪雨による原城跡及び日野江城跡の災害に対しても復旧工事が迅速になされ、目標は概ね達成できている。

埋蔵文化財の発掘調査は、発掘調査を6地区実施し調査報告書を4冊刊行し、達成ができていることに敬意を表したい。

6 世界遺産推進に関する事務

世界遺産関連施設整備事業の推進については、庁内の地域振興部、農林水産部と連携し、令和8年度の供用開始に向けた検討を進めていることに、大いに期待したい。

世界遺産の周知・啓発に関することについては、市内外のPRを積極的に行っている。小・中学校への学習の普及も行われているが、今後も多くの小中高でも実施されるよう進めていただきたい。また、南島原市世界遺産市民協働会議の取組でイベントの実施、清掃活動、周知啓発の活動が世界遺産を活用したまちづくりを推進していることに敬意を表したい。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価（令和5年度）については、コロナ禍前の事業に戻っているとは言えないが、関係各位の努力のおかげで、目標を達成している項目が大部分みられる。これからも感染対策に配慮しながらの取組が必要であると考えている。

教育委員会の各所管課室からの説明を聞き、自己評価の結果は妥当であると感じた。これまでの担当者の努力に敬意を表する。今後も南島原市民のためにより一層の努力と創意工夫がなされることを期待し、所見とする。

令和6年9月1日

荒 木 伸 志

自己点検・評価

第 1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 会議の開催回数 ○ 審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議回数も適正であった。定例会を12回〔12回〕（月1回）実施した。 教育委員会に提案した議案等は、総数27件〔21件〕あった。	達成	継続
② 広報・広聴活動の状況 ○ 教育委員会の定例会開催の市民への周知は、公告及びホームページを利用して行った。 教育委員会の会議録については、ホームページによる公開を行った。 ・ホームページ公開・・・12回〔12回〕	達成	継続

(2) 教育委員と事務局との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 教育委員と事務局間において、年間を通じて重要事項となっていることについて、確実に連絡調整を行った。 ○ 教育委員会の議題のうち議案に関しては、教育委員が議案の検討を事前に十分行うことができるよう会議日以前に教育委員へ資料を送付した。 ○ 懸案事項等についても、教育委員会会議の所管事項で報告し、諸問題に係る意見交換や検討・報告を十分に行った。	達成	継続

(3) 教育委員会と市との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 総合教育会議において、積極的な意見交換を行い、教育委員会と市との連携を図った。 ・総合教育会議・・・1回〔1回〕開催 ・協議内容 ①第2期南島原市教育振興基本計画について ②教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱について ③学校教育におけるデジタル技術の積極的活用（AIドリル）について ④その他（部活動の地域移行について等）	達成	継続

(4) 教育機関等との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 学校への訪問 ○ 学校訪問は学校の教育環境の実態を把握し、必要に応じて改善の手立てを講じることが狙いである。原則として3年で全校を訪問することとしており、教育委員会としての責務により、学校訪問を行った。 ・訪問校数・・・小学校4校〔2校〕、中学校2校〔2校〕 ○ 教育委員は、学校訪問の他に研究発表会や中体連激励視察、入学式、運動会・	達成	継続

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
体育祭などの各種行事にも事務局と連携して出席した。		
② その他施設への訪問 ○ 各施設で行われる行事等の開催に合わせて訪問を行った。	達成	継続

(5) 教育委員の研修等

点検・評価のコメント及び活動内容等				達成度	評価
○ 外部研修会等には計画的に参加し、研鑽に努めた。 また、新しい情報や懸案事項等については、その都度、教育委員会の会議の場において議題にするなど、情報の共有化を図った。 〔活動内容〕 教育長・・・ 都市教育長協議会（全国・県）の研究会や長崎県・市町教育長キックオフ会議等に参加し、県及び各市町の教育長との情報交換、懸案事例の検証等を行った。 教育委員・・・ 県市町教育委員会合同研修会等の外部研修に参加し、情報交換や研究等研鑽を行った。				達成	継続
区 分	全国対象	九州内対象	県内対象		
参 加 回 数	1 回〔2 回〕	1 回〔0 回〕	8 回〔4 回〕		
参加延べ人数	1 人〔6 人〕	4 人〔0 人〕	1 4 人〔7 人〕		

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

(1) 教育行政運営に関する一般方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 今後推進すべき具体策を明らかにし、本市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第２期 南島原市教育振興基本計画」を策定し、その計画に沿った目的を達成するための指標を定めた。	達成	継続

(2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	一	継続

(3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 任免その他の進退についての内申に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 ・ 教職員の人事内申	達成	継続

(4) 教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 任免その他の進退に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 ・ 事務局職員の人事に係る審議 (地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 18 条第 7 項の規定による)	達成	継続

(5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(6) 教育委員会規則の制定又は改廃

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な規則等の制定改廃については、遅滞なく、漏れなく審議した。 ・ 規則、要綱、規程の制定改廃議案・・・5件〔2件〕	達成	継続

(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な案件については、漏れなく審議した。 ・ 条例議案・・・条例制定0件〔1件〕 条例改正2件〔0件〕 ・ 契約議案・・・請負契約0件〔0件〕 財産取得0件〔0件〕 ・ 予算議案・・・当初予算案1件〔1件〕 補正予算案3件〔4件〕	達成	継続

(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 必要な審議については、遅滞なく、漏れなく実施した。 ・委員の任命等議案・・・8件〔9件〕	達成	継続

(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 島原・雲仙・南島原地区教科用図書採択協議会において調査審議し、教育委員会で採択することを議決した。 ・令和6年度使用の小学校教科用図書の採択	達成	継続

(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 事例なし	—	継続

(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 自己点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、ホームページで公表した。 点検及び評価を行うに当たって、検討会議を2回開催し、学識経験者の知見の活用を図ることができた。	達成	継続

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務)

1 教育環境の充実に関する事務

(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価						
○ 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、今後は市と更なる連携をして整備を行っていく必要があり、その安全性の確保は極めて重要である。 校舎及び体育館の耐震補強工事は平成26年度で終了したが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、中学校1校の非構造部材耐震化改修工事を実施した。 今後も、小・中学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めていく予定である。 ○ 中学校の非構造部材耐震化改修工事・・・計1件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>南有馬中学校校舎内部建具改修工事（1期）</td><td>13,723,600</td></tr><tr><td>合 計</td><td>13,723,600</td></tr></table>	工 事 名 称	工事費（円）	南有馬中学校校舎内部建具改修工事（1期）	13,723,600	合 計	13,723,600	達成	継続
工 事 名 称	工事費（円）							
南有馬中学校校舎内部建具改修工事（1期）	13,723,600							
合 計	13,723,600							

(2) 小・中学校の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等		達成度	評 価																														
○ 小・中学校施設及び設備の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修工事を行った。 令和5年度は、小学校施設の整備改修工事9件、中学校施設の整備改修工事7件の計16件を実施した。 ○ 小学校施設の整備改修工事・・・計9件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>口之津小学校駐車場舗装改修工事（R4 繰）</td><td>9,031,000</td></tr><tr><td>深江小学校プール槽改修工事（R4 繰）</td><td>9,007,900</td></tr><tr><td>口之津小学校屋外トイレ洋式化改修工事（R4 繰）</td><td>1,012,000</td></tr><tr><td>口之津小学校屋内運動場照明 LED 改修工事（R4 繰）</td><td>12,446,500</td></tr><tr><td>有馬小学校特別教室空調改修工事（R4 繰）</td><td>12,557,600</td></tr><tr><td>堂崎小学校学校用地法面落石対策工事</td><td>2,332,000</td></tr><tr><td>小林小学校図書室屋根防水改修工事</td><td>4,000,700</td></tr><tr><td>堂崎小学校屋内運動場屋根防水改修工事</td><td>12,950,300</td></tr><tr><td>旧口之津第一小学校校舎解体工事</td><td>90,995,300</td></tr><tr><td>小 計</td><td>154,333,300</td></tr></table> ○ 中学校施設の整備改修工事・・・計7件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>南有馬中学校校舎塔屋部防水改修工事（R4 繰）</td><td>5,337,200</td></tr><tr><td>深江中学校校舎照明 LED 改修工事（R4 繰）</td><td>15,990,700</td></tr><tr><td>深江中学校校舎他トイレ洋式化改修工事（R4 繰）</td><td>9,631,600</td></tr></table>		工 事 名 称	工事費（円）	口之津小学校駐車場舗装改修工事（R4 繰）	9,031,000	深江小学校プール槽改修工事（R4 繰）	9,007,900	口之津小学校屋外トイレ洋式化改修工事（R4 繰）	1,012,000	口之津小学校屋内運動場照明 LED 改修工事（R4 繰）	12,446,500	有馬小学校特別教室空調改修工事（R4 繰）	12,557,600	堂崎小学校学校用地法面落石対策工事	2,332,000	小林小学校図書室屋根防水改修工事	4,000,700	堂崎小学校屋内運動場屋根防水改修工事	12,950,300	旧口之津第一小学校校舎解体工事	90,995,300	小 計	154,333,300	工 事 名 称	工事費（円）	南有馬中学校校舎塔屋部防水改修工事（R4 繰）	5,337,200	深江中学校校舎照明 LED 改修工事（R4 繰）	15,990,700	深江中学校校舎他トイレ洋式化改修工事（R4 繰）	9,631,600	達成	継続
工 事 名 称	工事費（円）																																
口之津小学校駐車場舗装改修工事（R4 繰）	9,031,000																																
深江小学校プール槽改修工事（R4 繰）	9,007,900																																
口之津小学校屋外トイレ洋式化改修工事（R4 繰）	1,012,000																																
口之津小学校屋内運動場照明 LED 改修工事（R4 繰）	12,446,500																																
有馬小学校特別教室空調改修工事（R4 繰）	12,557,600																																
堂崎小学校学校用地法面落石対策工事	2,332,000																																
小林小学校図書室屋根防水改修工事	4,000,700																																
堂崎小学校屋内運動場屋根防水改修工事	12,950,300																																
旧口之津第一小学校校舎解体工事	90,995,300																																
小 計	154,333,300																																
工 事 名 称	工事費（円）																																
南有馬中学校校舎塔屋部防水改修工事（R4 繰）	5,337,200																																
深江中学校校舎照明 LED 改修工事（R4 繰）	15,990,700																																
深江中学校校舎他トイレ洋式化改修工事（R4 繰）	9,631,600																																

加津佐中学校屋内運動場照明 LED 改修工事 (R4 繰)	10,346,600
加津佐中学校屋外トイレ洋式化改修工事 (R4 繰)	2,550,900
西有家中学校校舎管理棟屋根防水改修工事	9,156,400
口之津中学校技術科室屋根防水改修工事	19,346,800
小 計	72,360,200
合 計	226,693,500

(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等		達成度	評 価																						
○ 社会教育施設、社会体育施設の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修を行った。 当初計画していた緊急性の高い6件について、整備改修を実施した。 ○ 社会教育施設の整備改修工事・・・計4件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>南有馬青年会館解体工事</td><td>4,027,100</td></tr><tr><td>原城図書館授乳室エアコン取替工事</td><td>374,550</td></tr><tr><td>口之津図書館高圧ケーブル取替工事</td><td>906,400</td></tr><tr><td>口之津図書館内部柱補修工事</td><td>484,000</td></tr><tr><td>小 計</td><td>5,792,050</td></tr></table> ○ 社会体育施設の整備改修工事・・・計2件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>北有馬ふれあい交流広場法面未然防止工事（R4 繰）</td><td>34,540,000</td></tr><tr><td>有家総合運動公園放送設備改修工事</td><td>1,582,900</td></tr><tr><td>小 計</td><td>36,122,900</td></tr><tr><td>合 計</td><td>41,914,950</td></tr></table>		工 事 名 称	工事費（円）	南有馬青年会館解体工事	4,027,100	原城図書館授乳室エアコン取替工事	374,550	口之津図書館高圧ケーブル取替工事	906,400	口之津図書館内部柱補修工事	484,000	小 計	5,792,050	工 事 名 称	工事費（円）	北有馬ふれあい交流広場法面未然防止工事（R4 繰）	34,540,000	有家総合運動公園放送設備改修工事	1,582,900	小 計	36,122,900	合 計	41,914,950	達成	継続
工 事 名 称	工事費（円）																								
南有馬青年会館解体工事	4,027,100																								
原城図書館授乳室エアコン取替工事	374,550																								
口之津図書館高圧ケーブル取替工事	906,400																								
口之津図書館内部柱補修工事	484,000																								
小 計	5,792,050																								
工 事 名 称	工事費（円）																								
北有馬ふれあい交流広場法面未然防止工事（R4 繰）	34,540,000																								
有家総合運動公園放送設備改修工事	1,582,900																								
小 計	36,122,900																								
合 計	41,914,950																								

2 学校教育の推進に関する事務

(1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 本市に居住する心身に障がいのある児童生徒(就学前の幼児を含む)に対し、それぞれの能力に応じた教育が受けられるよう、その判定と就学支援の適正を期して、教育委員会の諮問に応じて、その結果を答申し、適切な就学支援を行った。 開催期日・・・7月12日(水)、11月8日(水) 開催場所・・・南有馬庁舎中会議室 出席者・・・教育支援委員13人、教育長他4人、計17人 審議件数・・・104件〔120件〕	達成	継続

(2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 特別支援教育助手は、特別な配慮を要する児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができるように配置した。 特別支援教育助手の配置によって、学校・保護者との連携が十分に図られ、児童生徒の状況に応じた学習指導、生徒指導及び生活指導、進路指導等への適切な支援ができた。 ○ 配置状況 配置人数・・・41人〔38人〕 【34人】 配置学校数・・・21校〔21校〕 (12校〔13校〕は2人配置、4校〔2校〕は3人配置) 年間勤務日数・・・152日	概ね達成	継続

(3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員・適応指導教室指導員の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 心の教室相談員は、悩み等を持つ児童生徒の相談を専門的に受けたり、ストレスを和らげたりすることができる第三者的な存在であり、校内における相談体制を整えるために配置した。 不登校児童生徒数については、小学校は増加傾向、中学校は横ばい状態にあり、設定目標に達しておらず、心の教室相談員との連携を更に深めていく必要がある。 また、適応指導教室「つばさ」に施設指導員3人〔3人〕を配置し、個別に適応指導を進めており、児童生徒13〔8〕人が通室し、4人が学校復帰、そのうち卒業生2人〔1人〕が高等学校に進学する等の成果をあげた。 ○ 配置状況 配置人数・・・15人〔15人〕 年間勤務日数・・・心の教室相談員140日 適応指導教室指導員土、日、祝日、年末年始を除く月曜日から金曜日 ○ 不登校児童生徒数 小学校・・・17人(全体の0.89%)〔15人(全体の0.79%)〕 中学校・・・38人(全体の3.86%)〔38人(全体の3.86%)〕 計・・・55人(全体の1.91%)〔53人(全体の1.83%)〕	概ね達成	継続

(4) 学校支援員配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 学校支援員は、小・中学校の教育活動に際し、教職員の業務支援を行うことにより、教職員がより児童生徒への指導や教材研究等に尽力できるようにするために配置しており、教職員の負担軽減が図られ、個に応じた指導や教員の働き方改革の推進に寄与した。 ○ 配置状況 配置人数・・・21人〔21人〕 配置学校数・・・21校〔21校〕 年間勤務日数・・・190日	達成	継続

(5) 市教職員研修「W i t h」

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 「南島原市の教育の在り方」の実現を目指して、本市における喫緊の教育課題や教職員のニーズに応じた実践的な研修を行うことで、高い専門性と豊かな人間性をもった品格ある教職員を育成し、学校力の向上を図ることをねらいとしている。学力向上、授業改善、外国語教育等をテーマとした研修を計画し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、すべて実施した。 ○ 実施内容 開設講座の種類・・・5種類〔5種類〕 実施講座数・・・・・・9講座〔10講座〕 受講対象者・・・・・・全教職員 ○ 講座終了後のアンケート結果（ねらいに基づく構成や運営がなされたか。） よかった・・・・・・72.1%〔73.3%〕 ややよかった・・・・26.0%〔25.1%〕 やや悪かった・・・・1.9%〔1.1%〕 悪かった・・・・・・0.0%〔0.5%〕	達成	継続

(6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 本市の出身で名誉市民である北村西望氏、同じく名誉市民である古野清孝氏、古野清賢氏兄弟の功績を称え、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興を図ることを目的として開催した。 11月17日(金)～19日(日)に展覧会を開催し、19日には表彰式を開催した。 来場者数・・・963人〔808人〕 ○ 北村西望賞教育美術展入賞数 総出品数461点〔415点〕【420点】 西望賞・・・小学生 4点、中学生 2点〔小学生 4点、中学生 2点〕 優秀賞・・・小学生12点、中学生 6点〔小学生12点、中学生 6点〕 特 選・・・小学生60点、中学生18点〔小学生55点、中学生15点〕 ○ 古野賞科学技術展入賞数 総出品数 98点〔117点〕【120点】 古野賞・・・小学生 1点、中学生 1点〔小学生 1点、中学生 1点〕 優秀賞・・・小学生 2点、中学生 1点〔小学生 2点、中学生 1点〕 特 選・・・小学生 6点、中学生 3点〔小学生 6点、中学生 3点〕	概ね達成	継続

(7) 人間教育研究指定小学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・有家小学校（令和4～令和5年度） ・・・小林小学校（令和5～令和6年度） ○ 研究費・・・指定校に研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 有家小学校・・・11月16日（木） 2年次 本発表 小林小学校・・・1月19日（金） 1年次 中間発表 ※有家小学校は、県教育委員会指定研究を兼ねる。 研究紀要の作成・配布 有家小学校・・・11月16日（木） 2年次 本発表時	達成	継続

(8) 人間教育研究指定中学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・北有馬中学校（令和4～5年度） ○ 研究費・・・指定校に研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催及び研究紀要の作成・配布 北有馬中学校・・・11月2日（木） 2年次 本発表	達成	継続

(9) 総合学習事業（小学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 各小学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和5年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・1,135,473円〔1,038,065円〕 (1校平均87,344円)〔79,851円〕 ○ 実施学校数・・・13校〔13校〕	達成	継続

(10) 総合学習事業（中学校）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
○ 各中学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 令和5年度においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・621,636円〔603,432円〕 (1校平均77,705円)〔75,429円〕 ○ 実施学校数・・・8校〔8校〕	達成	継続

(11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手等の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 市内中学校に6人の外国語指導助手（A L T）を配置し、中学校英語科の授業の充実を図った。直接A L Tと触れ合うことで、生徒の発音・発声の習得や国際理解教育の推進に大きく寄与した。 また、3人の英語指導助手（E A T）を各小学校に派遣した。 ○ 配置状況 （A L T） 配置人数・・・6人〔6人〕【6人】 配置校・・・6校（深江中、布津中、有家中、西有家中、北有馬中、加津佐中） 派遣校・・・2校、1園（南有馬中、口之津中、北有馬こども園） （E A T） 配置人数・・・3人〔3人〕【6人】 派遣校・・・全小学校	達成	継続

(12) 学校給食センターの円滑な運営

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 学校給食センター供用開始から2年が経過し、調理業務や配送作業等も確立され、安定した運営が出来ている。また、給食センターの見学や試食の受入れを行い、児童や保護者、地域住民へ食育の推進を担う役割を果たしている。 施設見学 10件（延べ167人） ○ アレルギー対応（代替食）については、これまで卵のみの対応だったが、令和5年9月からは、えび・かに・いか及び種実類の代替食も提供可能とした。 ○ 多子世帯及び物価高騰対策として給食費の支援を行った。 学校給食費保護者負担軽減補助金 補助額 10,019,080円 対象：第3子目以降 222名 学校給食会原油価格・物価高騰対策費補助金 補助額 19,997,368円 食材費高騰による給食費の値上げ相当分に対する補助	達成	継続

(13) 南島原市立小・中学校適正規模・適正配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 小学校においては、これまでの統合により、一定の成果を得ているが、今後も、複式学級の解消を優先に中学校も含めた適正規模・適正配置について継続した取り組みを行っていく。 令和5年度は、今後の児童生徒数の推移（予測）を広報紙で周知を行い、未就学児及び小中学生の保護者、小学5年生～中学3年生を対象にアンケート調査を行った。	達成	継続

(14) I C T機器の整備

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 電子黒板等のI C T機器を整備し、小・中学校の授業改善を進め、児童生徒の学力向上を図った。 小学校は、平成26年度導入した電子黒板が老朽化したため更新した。 学校電子黒板購入 （小学校31台）… 13,044,900円	達成	継続

(15) 中体連補助事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 体育の振興を図りその活動を支援するため、南島原市中学校体育連盟に対し中体連運営補助、部活動補助、大会出場補助等の経費の支援を行った。 運動部活動数・・・68部〔71部〕 県中総体・・・8校34件〔8校31件〕 九州中総体・・・5校8件〔3校3件〕 全国中総体・・・2校3件〔1校1件〕 県新人大会・・・7校18件〔7校20件〕 九州新人大会・・・1校1件〔2校2件〕	達成	継続

(16) 英語検定料等補助金事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価																																							
○ 市内の小・中学校に在籍する児童生徒に対し、英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検及び英検 Jr. 学校版）を受験する児童生徒の保護者に対し、南島原市英語検定料等補助金を交付した。1 月には学校教育課主催で、小学生全学年を対象に英検 Jr. 学校版を実施した。 ○ 英検受験者数・・・4 5 9 人（小学生 8 4 人、中学生 3 7 5 人） 〔4 1 0 人（小学生 8 2 人、中学生 3 2 8 人）〕 ○ 英検受験状況 小学校 <table><tr><td></td><td>5 級</td><td>4 級</td><td>3 級</td><td>準 2 級</td><td>計</td></tr><tr><td>合格者数</td><td>3 5 人</td><td>2 4 人</td><td>2 人</td><td>0 人</td><td>6 1 人</td></tr><tr><td>受験者数</td><td>4 3 人</td><td>3 4 人</td><td>6 人</td><td>1 人</td><td>8 4 人</td></tr></table> 中学校 <table><tr><td></td><td>5 級</td><td>4 級</td><td>3 級</td><td>準 2 級</td><td>2 級</td><td>計</td></tr><tr><td>合格者数</td><td>6 6 人</td><td>8 6 人</td><td>102 人</td><td>3 2 人</td><td>0 人</td><td>2 8 6 人</td></tr><tr><td>受験者数</td><td>7 7 人</td><td>8 9 人</td><td>132 人</td><td>6 3 人</td><td>4 人</td><td>3 7 5 人</td></tr></table> ○ 決算額 小学校・・・1 9 2, 7 0 0 円〔1 5 7, 7 0 0 円〕 中学校・・・1, 2 4 6, 6 0 0 円〔1, 0 9 4, 2 0 0 円〕		5 級	4 級	3 級	準 2 級	計	合格者数	3 5 人	2 4 人	2 人	0 人	6 1 人	受験者数	4 3 人	3 4 人	6 人	1 人	8 4 人		5 級	4 級	3 級	準 2 級	2 級	計	合格者数	6 6 人	8 6 人	102 人	3 2 人	0 人	2 8 6 人	受験者数	7 7 人	8 9 人	132 人	6 3 人	4 人	3 7 5 人	概ね 達成	継続
	5 級	4 級	3 級	準 2 級	計																																				
合格者数	3 5 人	2 4 人	2 人	0 人	6 1 人																																				
受験者数	4 3 人	3 4 人	6 人	1 人	8 4 人																																				
	5 級	4 級	3 級	準 2 級	2 級	計																																			
合格者数	6 6 人	8 6 人	102 人	3 2 人	0 人	2 8 6 人																																			
受験者数	7 7 人	8 9 人	132 人	6 3 人	4 人	3 7 5 人																																			

(17) 南島原市イングリッシュ・スピーチコンテスト

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
○ 日頃培ってきた英語学習の成果を発表する場を設定することにより、市内小・中学生の英語に対する興味・関心を高め、英語による表現力の育成・強化を行った。 12月23日（土）に開催し、中学生の部最優秀賞1人と小学生の部の本市代表1人が、2月3日（土）に行われた県大会に出場した。県大会では、中学生の部代表が最優秀賞に選ばれた。 参加者数・・・13人	達成	継続

3 社会教育の推進に関する事務

(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動

点検・評価のコメント及び活動内容等				達成度	評 価												
① 会議の開催 ○ 社会教育委員兼公民館運営審議会会議を年3回（例年4回開催）開催し、教育委員会が計画する事業の説明や事業の進捗状況及び研修、実績について報告を行った。 実践する社会教育委員を目指し、生涯学習課が主催する研修会・講演会へ参加し、事業の意義や問題点などに対する指導や助言を行うこととした。 また、外部研修会等に参加した委員より、研修成果について委員相互の共有化を図るため、会議時に報告を行った。 今後は、ここ数年行っていなかった提言書の作成に向けた取組について協議を行っていくこととした。 【会議】 ○ 第1回 6月7日(水) ・ 令和4年度社会教育事業実績について ・ 令和5年度社会教育事業計画について ・ 令和5年度研修・大会計画について ・ 男女共同参画推進懇話会委員の推薦について ○ 第2回 1月31日(水) ・ 令和5年度事業実施状況について ・ 会議・大会・研修会の参加報告について ・ 南島原市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画について ・ 委員の任期満了に伴う意向の確認について ・ 社会教育主事講習の受講報告 ○ 第3回 3月19日(火) ・ 令和5年度社会教育事業実績について ・ 令和6年度研修・大会の日程について 【研修会・講演会】 ○ 九州大学社会教育主事講習 現地研修 7月27（木）～29日（土） ○ 島原半島社会教育連絡協議会時の研修会（講演会）10月27日（金） ○ 地域の力を考える集い 3月12日（火）				概ね達成	継続												
② 委員の研修 ○ 社会教育並びに公民館関係の研究大会、および県研修会が開催され社会教育委員兼公民館運営審議会委員としての意識向上と自己研鑽が図られた。 <table><tr><td>区 分</td><td>九州地区研究大会</td><td>県研究大会</td><td>県研修会</td></tr><tr><td>参 加 回 数</td><td>2回〔2回〕</td><td>2回〔1回〕</td><td>3回〔1回〕</td></tr><tr><td>参加延べ人数</td><td>8人〔2人〕</td><td>8人〔12人〕</td><td>9人〔9人〕</td></tr></table>				区 分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会	参 加 回 数	2回〔2回〕	2回〔1回〕	3回〔1回〕	参加延べ人数	8人〔2人〕	8人〔12人〕	9人〔9人〕	達成	継続
区 分	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会														
参 加 回 数	2回〔2回〕	2回〔1回〕	3回〔1回〕														
参加延べ人数	8人〔2人〕	8人〔12人〕	9人〔9人〕														

(2) 家庭教育支援の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① 地域人材の育成 ○ 人材育成については、保育士を中心として主に乳幼児期に関する「保護者支援」の知識・技術等を身につけた保護者支援士の養成に努めた。また、結婚・妊娠・出産・育児まで切れ目のないきめ細やかな支援を行うコアサポーター養成講座・ファシリテーターの養成講座についても新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができていなかったが、今年度より再開した。 今後、養成したコアサポーターを対象に、フォローアップを行っていくことから改善とした。 ○ 人材育成 ・家庭教育支援コアサポーター養成講座 7月3日 受講者数 24人 [ー] ・家庭教育支援プログラムファシリテーター養成・フォローアップ講座 3月2日(土) 受講者数 27人 [16人] ファシリテーター数 124人 [124人] 【160人】 ・南島原市保護者支援スキルアップ講座 11月12日(日)・26日(日)・12月10日(日) 延べ受講者数 43人 [11人]	概ね達成	改善
② 学びの機会の充実 ○ 子育てに関心が高い父母等に、乳幼児期から学びの機会創出を図るため、親育ち講座などの講座を実施したほか、家庭教育支援施設「わくわく広場」や公民館、図書館の積極的な活用にも努めた。また、家庭教育(子育てサロン)講演会については、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができていなかったが、今年度より再開した。 今後は、他部署の事業と類似する事業の整理を行いながら実施していく。 ○ 家庭教育学級 市内 49講座 [46講座] 延べ受講者 308人 [279人] ・親育ち講座 6講座 受講者数 47人 ・はじめのいっぽ講座 23講座 受講者数 136人 ・には・さんぽ講座 20講座 受講者数 125人 【48講座】 ○ 家庭教育講演会の実施 来場者数 333名 [ー] ○ 家庭教育(子育てサロン)講演会の実施 来場者数 13名 [ー] 【500人】	概ね達成	継続
③ 家庭教育支援に関するネットワークの構築 ○ 家庭教育支援プログラムなどを活用した「子育て講座(わくわく広場)」を開催できた。また、家庭教育支援員による子育て相談や情報提供などの「子育て支援」をありえこレジヨホールで定期的に実施した。 ○ わくわく広場における講座 市内 31講座 [30講座] 受講者数 220人 [122人] (家庭教育支援プログラム、おはなし会ほか) ○ 情報提供及び相談支援(講座以外) 来所・訪問件数 77件 [77件] 来所・訪問者数 149人 [105人]	達成	継続

(3) 地域教育力の充実

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① 地域による学校支援の充実 ○ 学校支援会議を核とした「南島原っ子の夢・憧れ・志育成プロジェクト」に基づき、学校・家庭・地域の更なる連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力の向上に努めることができた。 会議、研修会を通じて、これからの学校と地域の目指すべき姿として、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動へ移行を進めた。 今年度は、2地区目となる口之津地区地域学校協働本部の設立を行った。 また、布津小学校、飯野小学校並びに布津中学校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）設立のための準備検討委員会が設置され、令和6年度に、布津地区地域学校協働本部発足のため準備・事業説明等を行った。 今後も学校教育部局と調整を図りながら事業を推進する。 ・地域学校協働活動本部設置件数 2地区〔1地区〕 【1地区】	達成	継続
② 地域教育力を生かした交流体験活動の実施 ○ 放課後こども教室推進事業（寺子屋21） 令和5年度は計画通り6月から開催し、前期・後期教室ともに実施したが、コロナ禍以降、教室数の減や募集した教室に申込みが無かった等の理由により、目標値に達しなかったため未達成となった。 週末活動がメインであることから、今後、平日の居場所づくりや学習活動の場として、放課後教室の拡充に努めたい。 前期 56教室 参加者数 471人〔58教室・487人〕 後期 53教室 参加者数 473人〔52教室・395人〕 【99教室】	未達成	継続
○ 地域で学ぶ通学合宿事業 新型コロナウイルス感染症のため中止した。 （6泊7日通学合宿） 参加者数 ー〔ー〕 （3泊4日通学合宿） 参加者数 ー〔ー〕 【7地区】	未実施	継続
○ 子ども会育成事業 子ども映画会や次期ジュニアリーダー研修会については、新型コロナウイルスの影響により昨年度まで中止されていたが、今年度は通常どおり開催され、多くの子どもたちが参加した。 また、今年度はDX推進班と連携を図り、夏休み期間に「eスポーツ大会」を実施し、地区子ども会の垣根を超えたイベントを実施することができた。 ・こども映画会 参加者数 440名〔ー〕 ・eスポーツ大会 参加者数 80名〔ー〕 ・のびのび少年デー 参加者数 226名〔139名〕 ・次期ジュニアリーダー研修会 参加者数 20名〔ー〕※東部15名、南部5名	達成	継続

③ 地域ぐるみの健全育成活動 ○ 青少年健全育成事業 青少年の健全育成及び非行事故防止を目的に実施した。毎年４月に開催している「自然と遊ぼう」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度まで中止とした。 ・自然と遊ぼう 参加者数 ー〔ー〕 ・少年ソフトボール大会 ８月２７日（日） 参加チーム数 ７チーム〔ー〕 ・夏休み帰宅放送（各中学校代表） 夏休み期間 ７月２１日(金)～８月３１日(木) ・ファミリンピック ９月１６日（土） 参加者数 約４００人〔一人〕 ・南島原市民会議ココロねっこ運動広報活動 ココロねっこポロシャツの販売 関係団体および学校等へのグッズの配布（横断旗、うちわ、バッヂ等）	概ね達成	継続
④ 成人教育 ○ 公民館講座等の学習活動の機会と内容の充実を図るとともに、学習の成果を社会に還元できるような環境の整備に努めた。今後も各地区での一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座等の地域課題に即した講座や人づくり・地域づくりにつながる学習会、自治公民館などとの連携事業を企画し、公民館本来の役割を考えた事業の実施に努めたい。 地域全体で未来を担う子どもたちの豊かな学びの提供と成長を支えるため、地域のあり方を見つめ直すとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の重要性の認識と関係者相互の資質の向上を図ることを目的に「地域の力を考える集い」を開催した。 各種公民館講座の開設 ・一般講座、女性講座、歴史講座、防災講座、高齢者学級 １６２教室〔１２６教室〕 ２３３回〔１９６回〕 【８６教室】 受講者数 延べ ５，４３３人〔３，０３６人〕 ・地域の力を考える集い 参加者数 ４４〔一人〕	概ね達成	継続
⑤ 人権教育 ○ 青少年人権教育推進事業の開催 ・青少年人権講演会（市内全ての中学生対象） １１月２１日(火) 北有馬中学校 講師：黒田 真紀 氏 １２月 ５日(月) 深江中学校 講師：小玉 澄香 氏 １２月 ６日(月) 西有家中学校 講師：濱口 美穂 氏 １２月 ６日(火) 口之津中学校 講師：松本 栄太郎 氏 １２月 ６日(火) 有家中学校 講師：小玉 澄香 氏 １２月 ８日(金) 加津佐中学校 講師：土手野 和広 氏 １２月 ８日(火) 布津中学校 講師：梅木澤 茂 氏	達成	継続

(4) 芸術文化の振興

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① 子ども芸術鑑賞事業 ○ 子ども達が自分の夢に向かって、心豊かにたくましく生き抜く力を身に付けさせるために、生の舞台芸術を鑑賞する機会を設け、青少年の「心の教育」として子ども達の豊かな善き人格形成に寄与することを目的に事業を開催することができた。 ・ 青少年劇場（中学生対象）※希望校無し 市内中学校 ー 〔一〕 ・ 子ども夢劇場（小学生対象）※北有馬地区～加津佐地区 内容 演劇 「ユエと瑠璃色の石」 劇団風の子中部 11月 27日（月）・28（火）・29日（水）・30日（木） 市内4会場 5小学校 542人 〔8小学校 652人〕 子ども芸術鑑賞事業【6回】	概ね達成	継続
② 芸術文化振興事業 ○ 多くの市民に親しまれる本物の舞台芸術や展覧会などの鑑賞機会を提供し、文化・芸術の振興と豊かな地域づくりの推進を目的に感染対策を講じたうえで開催した。 今後、更に多くの方が気軽に鑑賞できる機会の提供を図りたい。 ・ 地域住民のためのコンサート（三井住友海上文化財団助成事業） 公演日 5月7日（日） ありえコレジヨホール 227人 ・ THE TAO 夢幻響（DRUM TAO） 公演日 9月20日（水） ありえコレジヨホール 663人 ・ 宝くじ文化公演「オーケストラで歌う昭和ポップス」 （原田真二、庄野真代、麻倉未稀、澤田知可子） 公演日 12月23日（土） ありえコレジヨホール 694人	達成	継続
③ 第22回セナリヨ現代版画展の開催 ○ 2月17日（土）～2月25日（日） ありえコレジヨホール 応募総数 10,845点 〔9,088点〕 参観者数 1,914人 〔859人〕	達成	継続
④ アートビレッジ・シラキノ事業 ○ アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業 令和5年度は全国公募型により7名の作家を招へいすることができ、共に制作活動をする機会を提供することで、作家同士の育成・スキルアップにもつながった。 また、AIR事業以外の個展やワークショップも開催し、多くの地域住民等との交流もあり、本市の多様な魅力の創出につなげることができた。 今後は、版画に特化した事業だけでなく、彫刻などの企画展等を開催し、更なる施設の利用拡大を図るため改善とした。 ・ アートビレッジ・シラキノ エducーター（※） 池田 俊彦 氏 ・ アーティスト・イン・レジデンス事業（7名） 4月～5月 パスカル・エトリン（スイス） 8月～9月 湯浅克俊 氏、伊藤学美 氏、関貴子 氏、山田桃子 氏 1月～3月 今宮正陽 氏 横尾拓郎 氏 大杉祥子 氏 ・ 銅版画講座4回 参加者 16人 〔36人〕 ・ 木版画講座9回 参加者 67人 〔63人〕	概ね達成	改善

参加者・来館者数 延べ 2,057人〔1,865人〕 ※ エducator: 美術館や博物館において教育・普及活動を行う専門家。 展示解説や各種の教育プログラムなどに携わり、来館者の学習を支援する。 ○ 施設（ギャラリー、工房、宿泊）の利用 施設の運営面ではギャラリー・工房・宿泊施設の個人やグループでの利用が少なく、今後、利用拡大に向けた取組が必要である。 ギャラリー 1件〔0件〕 工房 29件〔6件〕 宿泊 13件〔4件〕		
--	--	--

(5) 読書活動の推進

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 図書館 ○ 市民の利便性を向上させ、より使いやすい図書館運営を図るため、市内6図書館、2図書室が連携・協力し読書活動の推進を行った。 「子どもと本でつながる学校と図書館」連携事業では、学校図書館に図書館司書を派遣し、小・中学校図書館、図書館、公民館図書室が相互に連携し、図書資料の充実を行い、子どもの読書活動推進にも取り組んだ。 更には、家庭教育支援施設としての機能の充実を図るため、親子や幼児を対象とした図書館教室の開催や、乳幼児図書の充実に努めた。 今年度は南島原市図書館が主催するブックリサイクルフェアを開催し、図書館で除籍となった本や、各家庭で不要となった本をリサイクルするイベントを実施し、2日間で延べ300名を超える来館者があった。	達成	継続
② 読書活動推進事業 「読書活動の推進を目的とした、図書館と幼稚園、保育園、および認定こども園との連携事業」では、希望のあった児童保育施設へ図書館職員を派遣し、子ども達の読書活動推進を図った。このほか、南島原市の子どもたちが、より確かな読書習慣や情報活用の力を身につけていくための指針として令和4年3月に策定した「南島原市子ども読書活動推進計画」に基づき、更なる読書活動の推進に取り組んでいきたい。 ○ 図書館教室 内容 各図書館 参加者数 延べ 9,334人〔10,018人〕 ○ 図書館まつり 深江図書館 209人 西有家図書館 46人 原城図書館 237人 口之津図書館 192人 加津佐図書館 27人	達成	継続
③ 図書館ボランティアの育成 ○ 読書サポーター養成講座 10月28日（土）11月4日（土） 参加者 77人〔82人〕 ○ 図書館友の会支援事業 内容 図書館友の会7団体へ運営費補助	達成	継続

4 スポーツの振興に関する事務

(1) スポーツイベントの開催

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① 南向きファミリー元気フェスタ！ ○ 子どもの運動離れによる体力の低下問題に対し、幼児期からスポーツに親しむことの意義を伝え、親子で参加することで家庭の中で考えるきっかけとなるよう事業を実施してきた。 平成30年度からは、チームひまわりとの協働事業「子どもの体力・運動能力向上事業」を実施。モデル校（小学校）の3年間のスポーツテストの数値データを基に検証を行い、専門家の分析により運動能力向上のプログラムを確立し、本市独自のプログラムメニューの冊子及び動画を作成した。それらを各学校へ配布することにより、「南向きファミリー元気フェスタ」の役目を終えたと判断し完了とする。 － 〔－〕	達成	完了
② 口加駅伝競走大会 ○ 令和5年度は未実施となったが、令和6年度の開催に向けて実行委員会での協議が行われた。 － 〔－〕	未達成	継続
③ 南島原市スポーツ推進イベント（ウォーキングサッカー大会） ○ 市民がスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じて市民の親睦と融和、地域間交流を図るとともに、健康で活力に満ちた生活を営み、心のふれあう明るく豊かな地域社会を築くことを目的に、ウォーキングサッカー大会を開催。 48人 〔－〕	達成	継続
④ 原城マラソン大会 ○ 「第31回原城マラソン大会」の開催については、小中高生・ファミリー・一般の種目で、5年ぶりに通常規模で開催した。 1,284人 〔784人〕 【2,000人】	概ね達成	継続
⑤ 小学生水泳教室 ○ 本市は前浜・白浜海水浴場といった美しい自然環境を有していることから水泳に親しむ環境づくりと、水難防止の目的のため市内全地区で3年生～6年生を対象に水泳教室を開催した。 108人 〔137人〕	達成	継続
⑥ 自然体験事業「ネイチャー」・「海と山のB&G塾」 ○ B&G海洋センター事業「ネイチャー」は、南島原市の自然に触れ合う体験活動をととして、郷土を愛する心を育む事業を実施した。 延べ61人 〔43人〕 ○ 「海と山のB&G塾」は、南島原市の豊かな海や山などの自然を楽しむ体験活動をととして、地域の人との関わりと郷土愛の醸成を図った。 延べ104人 〔117人〕	達成	継続
⑦ マリンスポーツ教室 ○ マリンスポーツ教室は、故郷の美しい海を体感することを目的に、カヌー、ヨット、SUP等の小学生用プログラムと親子の触れ合いを目的とした親子プログラムを実施した。 7月21日(金)～8月18日(金) 計14回 延べ44人〔51人〕	達成	継続

⑧ 砂ASOBEACH IN 南島原 ○ 市内の小学生や地域住民等を対象に、海を楽しみ、親しむことで海への関心や好奇心の向上を図るとともに海洋ごみなどの課題の解決に向けたアクションの輪を広げることを目的に実施した。 延べ1,014人 [666人]	達成	継続
⑨ 市民スポーツ大会 ○ 市スポーツ協会の主催、並びに加盟団体の運営による市民スポーツ大会を実施した。 本年度第18回大会は、通常どおりの規模で、23競技、1,790名の多くの市民の参加により、大会を実施した。 7月9日(日)～10月29日(日) 1,790人 [1,236人]	達成	継続
⑩ スポーツ講習会・講演会 ○ 今年度は、日程調整の都合がつかずに実施に至らなかった。 － [282人] 【100人】	未達成	継続

(2) スポーツ団体との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 南島原市スポーツ協会との連携 ○ 現在、スポーツ協会は24競技団体が加盟しており、スポーツ競技の普及・振興を図り、市民の体力向上と健康増進に寄与するために、事務局である生涯学習課とスポーツ協会が連携し、市民スポーツ大会の開催や県民体育大会への選手団の派遣等、市内競技スポーツの競技力の向上に取り組んだ。	概ね達成	継続
② 南島原市スポーツ推進委員会との連携 ○ 教育委員会とスポーツ推進委員会が連携することで、市内全体のスポーツ事業のスムーズな運営を行っている。スポーツ推進委員が中心となって取り組んでいる地区体育祭は、加津佐・南有馬・北有馬地区の3地区が実施予定だったが、悪天候もあり2地区（加津佐・北有馬）が実施した。また、綱引きにかわるスポーツイベントとして「ウォーキングサッカー大会」を実施した。	達成	継続
③ 総合型地域スポーツクラブとの連携 ○ 「TEAMひまわり」が取り組んでいる幼児期からの運動能力・運動神経の向上を目的とした保育園・幼稚園を巡回する「からだ遊び教室」や「各種スポーツ教室」等の事業については、実施することができた。しかし、子どもの体力・運動能力向上事業において、小学生の体力テストのデータを基に検証し作成した、本市独自の準備運動DVDを各小学校へ配布したが、周知不足により十分な活用ができなかった。 事業で多目的運動広場の指定管理者である「TEAMひまわり」と連携し、施設の活用とスポーツの推進に取り組んだ。	概ね達成	継続
④ 小学校社会体育活動支援 ○ 児童の健全な育成と体育・スポーツ活動の振興を図るため、児童で組織するクラブ活動に対して補助金を交付した。 32クラブ [36クラブ]	達成	継続

5 文化財の保護活用に関する事務

(1) 資料館等の維持・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① ロ之津歴史民俗資料館 ○ ロ之津歴史民俗資料館収蔵品の燻蒸処理、修繕、施設ガイダンス（館長解説）を実施した。 達成度については、コロナも解除されたが、入館者数は横ばいであり、企画展の充実など、まだ改善の余地があるため未達成とした。 評価については、分館に所蔵しているものを中心として、企画展等を開催したが、さらに入館者数増加対策を検討する必要があることから改善とした。 本館入館者数 3,391人〔3,397人〕	未達成	改善
② 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館 ○ 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館展示資料の整理並びに説明を実施した。 達成度については、コロナも解除されたが予定していた企画展も十分に実施できず入館者数も少ない状況であったため未達成とした。 評価については、年間を通じた企画展等について十分と言えない状況であること。また、今年は出土したものを中心に、展示や年間を通じた企画展等の充実を図る必要があることから改善とした。 入館者数 267人〔320人〕	未達成	改善

(2) 指定文化財の保護・管理

点検・評価のコメント及び活動内容等		達成度	評 価												
① 指定文化財の保護管理 ○ 国指定・県指定・市指定文化財の保存管理に努めた。特に国指定史跡の原城跡や日野江城跡においては、景観が損なわれることのないように配慮する必要がある。 原城跡と日野江城跡の史跡等を中心に、主として除草作業を実施した。 市内文化財の除草作業も定期的実施した。 ○ 原城跡において、近年の豪雨によりき損した法面の復旧工事を実施するとともに、崖面の崩落防止工事を実施した。 また、原城跡及び日野江城跡において雨水の排水対策を講じるための工事を実施した。 史跡の復旧等工事・・・計4件 <table><tr><th>工 事 名 称</th><th>工事費（円）</th></tr><tr><td>原城跡法面復旧工事（3-1 工区）</td><td>8,600,900</td></tr><tr><td>原城跡崖面崩落防止工事（B-5 工区）</td><td>30,787,900</td></tr><tr><td>原城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）</td><td>6,077,500</td></tr><tr><td>日野江城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）</td><td>9,071,700</td></tr><tr><td>合 計</td><td>54,538,000</td></tr></table>		工 事 名 称	工事費（円）	原城跡法面復旧工事（3-1 工区）	8,600,900	原城跡崖面崩落防止工事（B-5 工区）	30,787,900	原城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）	6,077,500	日野江城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）	9,071,700	合 計	54,538,000	達成	継続
工 事 名 称	工事費（円）														
原城跡法面復旧工事（3-1 工区）	8,600,900														
原城跡崖面崩落防止工事（B-5 工区）	30,787,900														
原城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）	6,077,500														
日野江城跡雨水排水整備工事（本丸-1 工区）	9,071,700														
合 計	54,538,000														
② 指定文化財の巡回 ○ 指定文化財の巡回を行い、き損等の初期発見に努めた。 国・県指定文化財：文化財巡視活動 回数（年間）3回〔2回〕 市指定文化財：加津佐から深江の主な文化財の巡回を兼ねて除草作業を随時実施した。		概ね達成	継続												

③ 指定文化財の防災訓練 ○ 指定文化財の防災訓練を行う必要がある。 令和6年1月26日(金)に口之津歴史民俗資料館分館から出火したと想定して文化財防火訓練を実施した。	概ね 達成	継続
---	----------	----

(3) 埋蔵文化財の発掘調査

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 埋蔵文化財発掘調査 ○ 県営ほ場整備、市道整備、農道整備事業や民間の開発事業に伴う発掘調査を6地区実施し、調査報告書については4冊刊行した。 原城跡においては、学術及び整備目的の発掘調査を実施した。	達成	継続

(4) 文化財保護審議会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 文化財等調査 ○ 指定文化財等の整備説明 指定文化財等の整備内容について説明し意見を伺った。また、史跡の保護について学ぶために視察研修について協議した。	達成	継続

(5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 史跡原城跡、日野江城跡の整備及び調査 ○ 国指定文化財原城跡、日野江城跡における整備及び調査について説明し指導助言を受けた。	達成	継続

6 世界遺産推進に関する事務

(1) 世界遺産センター整備事業の推進

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① 世界遺産センター整備事業 ○ 世界遺産センター整備事業の実施について 世界遺産関連施設の名称を「南島原市原城跡世界遺産センター」とした。 令和4年度に実施した南島原市原城跡世界遺産センターの基本設計をもとに、展示、建築及び造成の実施設計を実施した。 用地買収・移転補償について、地権者と交渉を進めており地権者から売却について了承を得ているものの、遺産影響評価報告書をユネスコ世界遺産センターに提出することとなったことから、用地買収・移転補償については予算を繰越し、造成工事については、予算を減額し令和6年度で改めて予算計上することとなった。 ○ 南島原市原城跡世界遺産センターの運営体制について 運営体制について、庁内の関係部局（地域振興部、農林水産部）と協議をおこないながら、令和8年度の供用開始に向けて検討を進めている。 ○ 文化観光推進事業について ・デジタルアーカイブ整備活用事業 文化芸術振興費補助金を活用し、全国各地の博物館や資料館、大学等に収蔵されている絵図の高精細デジタル化データを33点収集し、解説の多言語化を33点実施した。 収集したデータについては、南島原市原城跡世界遺産センターの展示の見どころとなるように活用する。次年度以降も計画的に、調査研究を進めながら絵図資料の高精細デジタル化と多言語化について実施していく。 ・周遊アプリコンテンツ追加業務 観光振興課が制作した「突撃！南島原情報局アプリ」に原城跡・日野江城跡の各史跡内主要スポットのガイダンス機能（遺構や見どころの解説）を追加し、出土遺物の画像を3DCGで表示出来るようにした。 アプリのトップ画面にこれらの機能の入口を設置することで、アプリの利用者が原城跡・日野江城跡の歴史に触れやすい環境を構築することができた。	概ね達成	継続

(2) 世界遺産の保護に関すること

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評価
① モニタリングの実施 世界遺産は構成資産やその周辺の緩衝地帯などについてモニタリング（経過観察）を毎年度行い、6年に1度、世界遺産委員会に保全状況報告書を提出し、審査を受ける必要がある。 令和5年度についても、対象となる箇所モニタリングを実施した。	達成	継続
② 遺産影響評価の適切な実施 ○ 世界遺産影響評価 南島原市原城跡世界遺産センターは原城跡の緩衝地帯内に建設することから、保全にかかる世界遺産影響評価を行うため、南島原市世界遺産影響評価委員会を開催し、報告書を取りまとめた。報告書は、令和6年4月にユネスコに提出されていたが、ユネスコの諮問機関であるICOMOS（国際記念物遺跡会議）から回答が示され、7月19日、文化庁から長崎県を經由して『世界遺産への影響はないと思われるので事業を進めて良い。』との連絡があった。	達成	継続

(3) 世界遺産の周知・啓発に関すること

点検・評価のコメント及び活動内容等		達成度	評価
① ホームページ等による情報発信 ○ 世界遺産に関する周知啓発 市ホームページ、世界遺産フェイスブック、広報誌を、活用し世界遺産に関する企画展やワークショップの情報等を発信した。		達成	継続
② 有馬歴史ガイド、原城 VR の運用 ○ 原城VR 「原城跡の築城時」と「島原・天草一揆」という時期の異なる原城跡の価値を分かりやすく理解していただくことを目的として、原城跡総合案内所でVR（当時の原城本丸を再現したイメージ映像）などが体験できるタブレット端末の貸し出しを行っており、原城跡の価値を伝える手段の確保はできている。 令和5年度 貸出人数：888人 〔前年度755人〕		達成	継続
③ グッズの作成及び活用 ○ 世界遺産グッズ配布 世界遺産の啓発のため、市内の小中学生や市内で実施される会議、各種イベントなどで、これまでに作成したパンフレットや新たに作成したグッズ（しおり・万年カレンダーなど）を配布し、原城跡の価値の伝達を行った。		達成	継続
④ 市内外向けの PR ○ イベント時の PR 活動実施 市内外で開催されるイベントにおいて、世界遺産の価値の周知と来訪者の増加を図るために庁内関係部署と連携しながら PR 事業を実施した。 ・令和5年8月26日 全国城下町シンポジウム ・令和5年9月23日～24日 ながさきかもめフェス ・令和5年11月4日 みそ五郎まつり ・令和5年11月19日 かづさ手づくりふれあい祭り ・令和5年12月3日 おいしい南島原 FoodExpo 2023 ・令和6年2月25日 原城マラソン大会 ○ お城 EXPO 等への参加による啓発 ・お城 EXPO（姫路市、横浜市）、にっぽんお城祭（名古屋市）に参加し、世界遺産を啓発した。御城印の販売は好評であった。		達成	継続
⑤ 出前講座「世界遺産について」の対応 ○ 出前講座の実施 市の出前講座で原城跡の世界遺産としての価値や今後のまちづくりについて、講座を実施した。 ・令和5年7月26日 南有馬地区 5名参加 ・令和5年7月29日 社会教育主事講習現地研修 約20名参加 ・令和6年3月13日 加津佐地区 7名参加		達成	継続
⑥ 小・中学校への世界遺産学習の普及促進 ○ 世界遺産学習の実施 市内小・中学校の郷土学習において、原城跡の世界遺産としての価値や今後のまちづくりについて、講座を実施した。 ・令和5年6月14日 南有馬小学校 ・令和5年9月12日 西有家中学校		達成	継続

⑦ 鈴木コレクションの整理・活用 ○ 鈴木コレクション図録作成 鈴木コレクションⅡの図録刊行に向けて、有馬キリシタン遺産記念館資料収集検討委員会を開催した。図録については、掲載する内容の整理を行い令和5年9月に刊行した。	達成	継続
⑧ 文化財普及活用事業 ○ 西南学院大学博物館との連携 連携協定を結んでいる西南学院大学博物館と連携特別展を開催。 ・原城図書館 実績3回（計画2回） ・西南学院大学博物館 実績4回（計画3回） 展示した史料について、連携特別展の開催毎に図録を発刊。	達成	継続

（４）その他世界遺産の推進等に関すること

点検・評価のコメント及び活動内容等	達成度	評 価
① 世界遺産推進本部会議 ○ 南島原市原城跡世界遺産センターの運営体制について 運営体制について、庁内の部署（商工観光課、農林課、水産課、文化財課）と協議を実施。物産部門は、農林課が運営体制を検討中。	達成	継続
② 南島原市世界遺産市民協働会議 ○ 世界遺産登録5周年記念事業の実施 世界文化遺産登録5周年を記念して、世界遺産を活用したまちづくりを推進するために様々なイベント等を実施した。 ・5周年記念イベント（原城一揆まつりと共催）1,700人参加 ・各種イベントへの協賛及び啓発ブース掲出（ありえ浜んこらまつり、みそ五郎まつり、夢・手作りふれあい祭り、フェスティビタスナタリス、南島原 Food Expo2023、原城マラソン大会、深江産業花火まつり、深江あるき） ・5周年記念グッズの制作（御城印、木製プレート） ・ワークショップ（十字架作り、型友禅染体験） 3回 ○ 清掃活動の実施 原城跡で市民協働会議主催の清掃活動を実施した。 11月実施分については、世界遺産登録5周年記念事業としてクリーンウォークを併せて開催し長崎市からの参加もあった。 （7月（65人）、11月（97人） 延べ162人参加） ○ 周知啓発活動の実施 全国で実施されるお城E X P O等のイベントに出店し、周知啓発活動を実施するとともに、5周年記念グッズ等の販売を行った。 ・お城E X P O in 姫路（9/16～18） グッズ売上 500,000円 ・お城E X P O 2023（12/16～17、横浜市） グッズ売上 503,000円 ・につぽんお城祭2024 in 愛知（3/1～2） グッズ売上 249,000円	達成	継続

③ 世界遺産地域連携会議との連携 ○ 世界遺産地域連携会議との連携 日本発信プロジェクト事業について、YouTube で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が海外向けの広告発信を行った。 連携事業としてフェスティビタスナタリス 2023 の情報を発信した。	達成	継続
④ 来訪者の適切な管理 ○ レンタサイクルの適切な運用 レンタサイクルを真砂、有馬キリシタン遺産記念館 2 か所に設置しており、保険契約やパンク修理などの保守管理を行った。 令和 5 年度 貸出件数：1, 580 件 [前年度 1, 222 件] ※令和 6 年度からレンタサイクル関連業務は商工観光課に移管。 ○ 原城跡保全協力金 原城跡総合案内所と有馬キリシタン遺産記念館に設置している原城跡保全協力金を毎月回収し管理している。 今後來訪者にさらなる協力をいただけるよう周知を行っていく。 ・令和 5 年度実績 原城跡総合案内所 163, 029 円（前年度実績 179, 555 円） 有馬キリシタン遺産記念館 51, 019 円（前年度実績 66, 429 円）	達成	継続

報告第 1 4 号

南島原市スポーツ推進委員の委嘱について

提案理由

スポーツ基本法第 3 2 条第 1 項並びに南島原市スポーツ推進委員に関する規則第 4 条の規定に基づき、スポーツ推進委員を委嘱したため、南島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則第 5 条の規定により報告する。

令和 6 年 8 月 2 3 日提出

南島原市教育委員会
教育長 松本 弘明

南島原市スポーツ推進委員名簿

【所管：教育委員会生涯学習課スポーツ振興班】

R6. 8. 1 現在

【任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日】

定数80名以内【80名】

No	氏 名	支部	備考
1	イノグチ ヒロアキ 井口 広昭	加	継続
2	フクダ リョウジ 福田 亮司	加	継続
3	フクダ ミチヨ 福田 美智代	加	継続
4	イワナガ マユミ 岩永 真由美	加	継続
5	ウジハラ タクミ 氏原 巧	加	継続
6	クリハラ ユウイチロウ 栗原 雄一郎	加	継続
7	サカイ マサミツ 酒井 正光	加	継続
8	マツダ タクヤ 松田 拓也	加	継続
9	フジムラ セイヤ 藤村 誠也	加	継続
10	サカタ ヨシノブ 坂田 好伸	加	継続
11	タグチ カツヤ 田口 克哉	口	継続
12	イムラ タケヒロ 井村 武弘	口	継続
13	タカダ マキコ 高田 真紀子	口	継続
14	タビラ タクミ 多比良 卓見	口	継続
15	ノダ カヨ 野田 香代	口	継続
16	ハマダ ヒデト 濱田 秀人	口	継続
17	マツオ ショウジ 松尾 将司	口	継続
18	タイラ ヤスエ 平 靖恵	口	継続
19	サダカタ コウイチ 定方 弘一	口	継続
20	ヤマサキ トモヒロ 山崎 友裕	口	新規
21	スガ ケンジ 菅 健治	南	継続
22	ササキ カズヒロ 佐々木 和浩	南	継続
23	ハヤシ トモコ 林田 智子	南	継続
24	ツネオカ ジュンイチロウ 常岡 淳一郎	南	継続
25	モトムラ ユカ 本村 友香	南	継続
26	スガ コウヨウ 菅 広洋	南	継続
27	ナカムラ タクミ 中村 翼	南	継続
28	オカノ シュンサク 岡野 俊作	南	新規
29	マチナガ マサル 町永 勝	南	新規
30	ナカムラ マユミ 中村 真由美	南	新規
31	タケイチ ヤスリ 竹市 保徳	北	継続
32	コマツ ヒサカツ 小松 久勝	北	継続
33	ササダ ケイスケ 笹田 圭祐	北	継続
34	ヤマムラ ミシアキ 山村 光秋	北	継続
35	ナカムラ テツヤ 中村 哲也	北	継続
36	ウラベ ムネチカ 浦部 宗近	北	継続
37	ササダ シンジ 笹田 真二	北	継続
38	タニグチ マコト 谷口 誠	北	継続
39	スエナガ タケシ 末永 武之	北	継続
40	タカギ ミツナリ 高木 三成	北	継続

南島原市スポーツ推進委員名簿

【所管：教育委員会生涯学習課スポーツ振興班】

R6. 8. 1 現在

【任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日】

定数80名以内【80名】

No	氏 名	支部	備考
41	カワカミ 弘昭 川上 弘昭	西	継続
42	イケダ 崇将 池田 崇将	西	継続
43	イトウ 孝司 伊藤 孝司	西	継続
44	フジワラ カズヒコ 藤原 一彦	西	継続
45	カジワラ イサム 梶原 勇	西	継続
46	マツモト ソエカ 松本 添花	西	継続
47	マツモト ミサト 松本 美里	西	新規R6. 8. 1
48	カネコ チエコ 金子 千恵子	西	新規
49	モトムラ サオリ 本村 沙織	西	新規
50	フジワラ コウジ 藤原 幸治	西	新規
51	サカグチ ケンイチロウ 坂口 健一郎	有	継続
52	タウラ マコト 田浦 誠	有	継続
53	マンオ ユキヨシ 松尾 主君	有	継続
54	クマベ イツコ 隈部 伊都子	有	継続
55	ハヤシダ ケイコ 林田 佳子	有	継続
56	タウラ セイゴウ 田浦 正剛	有	継続
57	イノノ マサフミ 磯野 正文	有	継続
58	ヤマグチ ヒロノリ 山口 紘範	有	継続
59	イケダ ショウヘイ 池田 正平	有	継続
60	トリイ ケンタ 鳥居 健太	有	継続
61	アリムラ トシオ 有村 俊男	布	継続
62	シマサキ ケンイチ 島崎 兼一	布	継続
63	シオタ ジュンイチ 塩田 純一	布	継続
64	ユ タ エリカ 湯田 恵梨香	布	継続
65	コバヤシ チ カ 小林 智佳	布	継続
66	ヨシオカ コウセイ 吉岡 光生	布	継続
67	オオヒラ アキ 大平 亜紀	布	継続
68	ヤマシタ セイイチ 山下 誠一	布	継続
69	コバヤシ リョウガ 小林 凌雅	布	継続
70	ナガトモ コウセイ 永友 浩聖	布	新規
71	イシカワ エイジ 石川 景士	深	継続
72	カワタ コ 川田 とも子	深	継続
73	カネタ マリコ 兼田 真理子	深	継続
74	イシグチ よとみ 石口 よとみ	深	継続
75	オカモト ケイイチ 岡本 圭一	深	継続
76	イトウ コウキ 伊藤 公貴	深	継続
77	オオヒラ ジュンイチ 大平 順一	深	継続
78	ハラカワ トシロウ 原川 俊郎	深	継続
79	アラキ マコト 荒木 亮	深	継続
80	エガワ マサヤ 江川 雅也	深	新規